事例No.	1370
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	宮城県大崎市

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・EBPM ・消防・防災

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

森林経営管理制度に基づく市町村による意向調査及び森林整備の実施

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

森林整備

宮城県　大崎市（森林経営管理制度に基づく市町村による意向調査及び森林整備の実施）

- 大崎市では、市内の森林を適切に管理していくため、森林環境譲与税を財源とした森林経営管理制度に基づき、令和元年度から市内に森林を有する森林所有者の意向を確認し森林整備を推進している。（意向調査対象森林面積約7,400ha 森林所有者数約5,900名）
- 令和２年度では、過去に大雨による洪水等被害があった上流に位置する鳴子温泉鬼首地区及び、ダム流域の岩出山池月地区において以下の取組により、私有林人工林３０３.３haの意向調査に取り組み、要森林整備箇所や崩壊地等を把握することが出来た。また、令和元年度の意向調査に基づき集積計画を作成し、林業経営に適さない森林については、市が自ら森林整備を行った。
- 令和３年度においては、この調査結果をもとに、集積計画を策定し、林業経営に適した森林は意欲と能力のある林業経営者に再委託し森林整備を進めると共に、林業経営に適さない森林については、市が自ら保育間伐等を実施する予定。また、令和２年度に引続き鳴子温泉鬼首地区及び岩出山池月地区及び田尻地区の私有林人工林２１０haの意向調査を行う予定。

□ 事業内容

森林所有者への意向調査及び森林整備の実施

- 意向調査票を送付した森林所有者を対象に、市内１地区で新たな森林経営管理制度の説明会を開催。
- 鳴子温泉鬼首地区及び岩出山池月地区の私有林人工林303.3ha（236筆、113人分）の森林所有者に対し、今後の森林の経営管理の意向を調査。
- 令和元年度の意向調査に基づき集積計画を作成し、林業経営に適さない森林については、将来的な針広混交林化を目指し、市が自ら間伐・除伐を実施。

【事　業　費】10,502千円（全額譲与税）

【実　　績】意向調査面積　303.3ha

森林整備面積　2.8ha



（森林現況調査の様子）

意向調査内訳	所有者（人）	筆数（筆）	面積（ha）
回答有り	９２	１９３	２５１.９
経営管理権集積計画作成意向有り	５２	９４	８８.３
所有者自ら経営管理を行う意向有り	４０	９９	１６３.６

□ 事業スキーム

○　森林所有者への意向調査の実施

大崎市 → 委託 → 森林組合 → 調査 → 所有者

□ 工夫・留意した点

- 説明会は、地元森林組合と連携することにより、森林経営管理制度を周知することが出来た。また、個別に森林所有者にも周知した。
- 意向調査は、森林整備を優先して実施する必要がある地域として、過去に洪水被害のあった上流部に位置する地域及びダム流域地区を試行的に行い、令和3年度以降に実施する集積計画による森林整備を着実に進めるための準備をすることができた。

◇ 基礎データ

①令和２年度譲与額	55,278千円
②私有林人工林面積（※１）	10,772ha
③林野率（※２）	53%
④人口（※３）	133,391人
⑤林業就業者数（※３）	175人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より